



特定非営利活動法人 (NPO)

インド福祉村協会

会報
2004.4.1
Vol.9

India Welfare Village Society News

ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~gassho/> (ボランティア募集中)

6年目には医療活動の他に、疾病予防の生活改善指導、女性への保健衛生教育、妊婦検診を計画し更なる飛躍を期待しております。日本の皆様の更なるご支援をお願いいたします。

5年目は検査の充実をはかりました。結核、喘息マラリヤ、トリコモナス症は無料で治療しました。

インドの多くの人々の支援のお陰と深く感謝しております。

インド福祉村病院(インド・アーナンダ病院)は2003年10月までの5年間で93,000名の患者が来院し、貧農部落の人々に貢献しております。



(7つの心と病院西側)



(アーナンダ病院 全景 東側)



(ビラリア症の象皮病)

グプタ院長の診療能力が高く、その上、病院には最新の医療機器が備えられていることが、地元の人々の信頼をかちえたものと考えられます。

地域の人々にとって、なくてはならない存在となってきたこの病院を、ぜひ皆様にご支援いただきたく、お願い申し上げます。

アーナンダ病院は皆様のお陰で開院後5年6ヶ月が経過しました。

他の病院で治療を受けていたけれどもよくなるので、インド福祉村病院で診てほしいという患者さんが、最近、非常に増えてきました。

必須の病院
理事長 山本孝之

インド福祉村病院(現地名 アーナンダ病院)
開院6年目... 飛躍の年
クシナガラ(北インド・UP州)

飯島宗一先生を偲ぶ

ありがとう 柴田 昌雄



去る3月1日飯島宗一先生(元広島大・元名古屋大学長)がご逝去されました。先生は幾多の要職についておられたにも拘わらず、私どもの願いを聞き入れていただき、インド福祉村協会の設立時より会長として、またNPO法人になってからは顧問として、約20年に亘りご指導ご鞭撻をいただきました。いま私はこの世の常とは言え寂しさと胸一杯です。

先生は「国際ボランティアは相手の考えを尊重し、お互いに学び合う心を持って行うことが大切である」と常に言われていました。私もはこの先生の精神を戴して、これからも活動を続ける覚悟です。このことが先生のご恩に報いることであると思っております。

最後に90年宮中歌会での先生の和歌を載せておきます。
「木末もるる朝の日差しのやはらかき小庭を歩む今日晴れにけり」

5周年のあゆみ

医師 P.N.グプタ

日本の皆様のご支援で5年間の医療活動をつうじ、インドの人々の信頼は厚くなりました。アーナンダ病院の基礎は強固なものになったと感じます。

5年目は21000名(前年比26%UP)の患者が受診し、X-P、ECG、エコー、血液検査等も充実し、日本のボランティア貯金の支援による無料のマラリア、喘息、トリコモナス、結核治療は多くの患者に感謝されております。

6年目は更なる飛躍を目指し医療の発展と同時に、女性への生活改善と保健衛生指導に着手して感染症の減少と生活向上に職員一同で努力いたします。日本の皆様ぜひアーナンダ病院へお越しください。

【来院患者疾患名(上位)】

- 1位 気管支喘息
- 2位 胃潰瘍
- 3位 貧血
- 4位 トリコモナス症
- 5位 熱帯病
- 6位 気管支炎
- 7位 関節リュウマチ
- 8位 ウイルス感染症
- 9位 筋肉痛
- 10位 高血圧
- 11位 肺結核

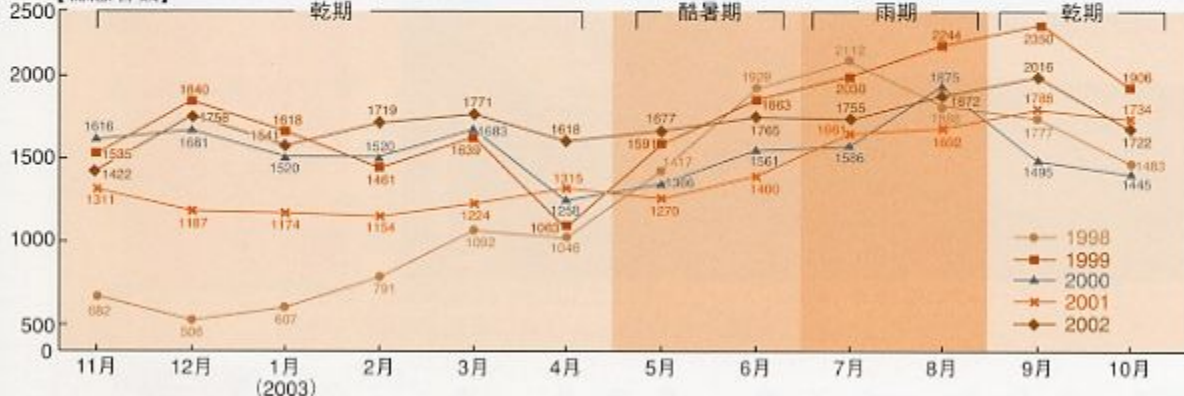
【風土病的疾病】

- 1) フィラリア症
- 2) マラリア
- 3) チフス
- 4) ハンセン病
- 5) カラアザール
- 6) 日本脳炎
- 7) アメーバ赤痢
- 8) 甲状腺腫
- 9) 狂犬病
- 10) 蛇毒
- 11) 象皮病

【患者数】

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	統計
総患者	15,310名	21,140名	18,606名	16,910名	20,636名	92,602名
新来患者	6,756名	7,946名	6,247名	5,593名	7,547名	34,089名
再来患者	8,554名	13,194名	12,359名	11,317名	13,089名	58,513名
男性 36% 女性 64% 小児 10%						

【総患者数】



【南アジア】



【インド クシナガラ周辺の主要都市】



(グプタ医師の診察)

【現地住所】 ANANDA HOSPITAL TEL : 91-5564-272428 / 91-5564-272429
住所 : VILLAGE SIRSIA DIST PADORONA 274403.UP.INDIA

インド福祉村病院の現況報告

常務理事 柴田昌雄(愛知学院大学前教授)

去る3月に現地インド福祉村病院を訪れ診療をしてきました。今回は加藤伸也、土井まつ子の両氏と一緒にまいりました。

相変わらず多くの患者(毎日70~100名)、且つ多彩な病気を持った人々(例えば重症肺結核、ハンセン病、寄生虫症、貧血症など)が来院してまいりました。最近の傾向としては他の医



(柴田医師の診察)

師(病院)にかかっていたが好転せず、当院のグプタ医師をたよって来院する患者が増加したことです。この事はグプタ医師の信頼度が高くなつた事と考えられます。

その為にも今後ますます当院の医療の質の向上をはからねばならないと思つています。何卒皆様方のご支援を心からお願い申し上げます。

合掌

していたし、と言うより公立病院はしていない、清潔感が比較にならない。

花、木とガーデンもスタッフによりきれいに管理されており、心が和んだ。そしてホテルの歓迎レセプションがあると

は思わなかった!!
英語が話せず、大変であった。(停電が多い

ので、勉強のためホテルを捕りたかった)土井さんが持つてきた、「指さしヒンディ語」の本は大変役に立った。スタッフや住民に取り上げられ、ヒンディ文字を指さし、私にこれ質問したり、教えてくれた。

この病院が日印友好のために大いに役立つことを期待し、又支援したいと感じました。

土井まつ子 (愛知医科大学看護学部)

平成16年3月8日から3月11日までの4日間、アーナンダホスピタルに滞在して、その医療活動を見学する機会を持つことができました。また、3月12日には、柴田昌雄先生のお供でJICAと日本大使館にも訪問でき、初めてのインドへの旅は日々充実したものでした。

クシナガラの日目は、赤や黄色、緑などの色を顔や身体につけてお祝いをするホーリーのお祭りです。楽しいびっくりが私たちを待ち構えていました。この4日間の滞在中に、患者さんに対する的確ですばやいグ



(小学生への学用品贈呈)

プタ医師の診療を間近に見学できたこと、また、日本国内ではあまり接することのない感染症などを学ぶことができました。4日間のうち来院してくる患者さんの数が、1日で100人を超える日もあり、昼食を取ったのが5時でした。時には6時頃まで診療をすることもあったので、グプタ医師をはじめ看護婦さんや職員の方々が、日々奮闘されていることを知りました。

診察室にいたわたしに、ヒンディ語でなにか話しかけてくださった方がいました。後でお宅に招待くださったことを知りましたが、残念なことにはその日はちょうど帰国する日で訪問は実現しませんでした。病院の裏手の庭には、マリーゴールドの花壇やえんどう豆などが植えられたベジタブルガーデンがあり、さわやかな夕暮れの時間を楽しむことができました。それから、美しい夕日や、庭に蛍が飛んでいるのを見たこともとても印象的でした。

アーナンダ病院訪問・印象記

加藤伸也 (臨床検査技師)

グプタ医師の出迎えをうけて初めてアーナンダ病院を訪問した。病院はレントゲン以外の検査室は、ほとんど使用していない。未使用状態の検査室は、分析機、顕微鏡、顕微鏡、恒温槽、オープンヤその他の小物も多くあった。

患者は徒歩、自転車、車と三々五々と来院してきた。祭りの後でもあったのか、78人、150余人と多い日もあった。こんな日の「昼食」は15時、17時であった。喘息、TB、疥癬、HIV、象皮症、栄

養失調等々、日本では考えにくい診療と疾病形態であった。

問診、視診、触診、聞診の上、患者への適切な指導が伺えた。また、患者、住民への健康管理、衛生指導の情熱も伺えた。

院内全体はスタッフにより、清潔、クレゾール消毒液(ゲストハウスも含む)と徹底している。見学した公立病院よりそれは徹底



(生活指導と衛生指導)



(ホーリーのお祭り日)

特定非営利活動法人(NPO)

インド福祉村協会 (IWVS)

特定非営利活動法人インド福祉村協会は、民族、宗教を超えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、プライマリ・ヘルスケアを中心とする診療活動と保健衛生活動及び不就学児童らに対する教育活動を行うことによって、インド国の医療の充実及び幼児教育の充実を図り、もって両国の友好に寄与することを目的としています。診療活動としてクシナガラにてインド福祉村病院(アーナンダ病院)を開設、運営を行っています。

ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~gassho/>



入会のお願ひ

正会員：年会費 5,000円

総会の議決権があります。協会の会報を毎回お届けします。プロジェクトの進み具合、現地の情報を逐次お知らせします。現地宿泊の便宜を図ります。

特別会員：年会費 100,000円(一口以上)

総会の議決権はありませんが、代表一名を正会員として登録します。その他正会員と同様。

賛助会員：年会費 1,000円(一口以上)

総会の議決権はありません。協会の会報をお届けします。

【会費・寄附の支払い方法】

1. 郵便振替 郵便振替用紙を利用し、最寄りの郵便局より手続きを行う。

ご一報いただければ用紙をお送り致します。

郵便振込(口座番号)00830-2-65008 (加入者名)インド福祉村協会

募金のお願ひ!

少しでもあなたの善意を分けて下さい。

インド福祉村協会 (INDIA WELFARE VILLAGE SOCIETY)

理事長/山本孝之(さわらび会理事長)

常務理事/柴田昌雄(愛知学院大前教授) 理事/高木元昊(慈専寺前住職)

事務局長/武田和敏

ほか

■発行者 インド福祉村協会 (IWVS)

■発行人 大竹紘一 ■編集協力 文創社

■インド福祉村協会事務局

〒441-8124 愛知県豊橋市野依町山中19-12

TEL:0532-48-1138 FAX:0532-48-2365